空き稼働マッチング

システム開発T 小西 孝海

# はじめに

　本書は、BLASのデータ管理 空き稼働マッチング機能に関する基本設計書である。

## メモ

打ち合わせたときのホワイトボード。もう、記憶が薄い……。

ホワイトボードに書かれた文字

AI 生成コンテンツは誤りを含む可能性があります。

## 背景

**【顧客名】**シーテック様

* ビルの建設と言った、長期の案件
* 基礎工事、躯体工事、足場の設置、仮設工事、外装工事、内装工事といった1工程あたりに日数を要するスケジュールが前提
* 工事は班に分かれて行われる
* 前工程が遅延すると、後ろも引きずられて遅延する
* ズレて工程がなくなる
* 工程が飛ぶと作業者の予定が空く
* リスケは職人のつながり、つてをベースに電話で調整
* 工程の全容は親方の頭の中
* マッチングするときに「これができる人」を集めたい「基礎工事できる人」
* 余力のある班から余力のない班に人をアサインしたいが、どの班がどのくらい余力があるか、また、どの工程がどのくらい遅れているかがわからない(問題点)

## 目的

・工事の進捗を可視化する

・作業者の空き稼働状況を管理する

・遅延している工事に、適切に人員を配置する(自動マッチング)

# 用語の定義

　本書で使用する用語の定義について表 2.1に示す。

表 . 用語の定義

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| # | 用語 | 説明 |
|  |  |  |

# 空き稼働マッチングの概要

**[工事の進捗管理]**

・データ管理で工事の進捗を管理する

・工事の進捗は、ガントチャートで表示する(ライブラリで表示したい)

**[空き稼働の管理]**

・データ管理で作業者が稼働する予定(シフト)を入力する

・カレンダーで表示する(なくてもいいが、デモのときにかっこいい)

**[マッチング]**